

こんなにごみを出しています

～みんなでごみをの分別をすすめましょう～

◆市民1人当りのごみは、1日1.1キログラム

本市の平成18年度のごみ排出量は、27,329トン。これは市民1人あたり年間405キログラム、毎日1,110グラムのごみを出し続けることとなります。内訳をみると、燃えるごみが増え続けている一方、資源ごみは減っています。

◆市民1人当りのごみの処理費用は、11,900円

ごみの収集から焼却・資源化などの中間処理、最終処分（埋め立て）までのごみ処理は、本市と3町1村で組織する十和田地域広域事務組合が行っています。

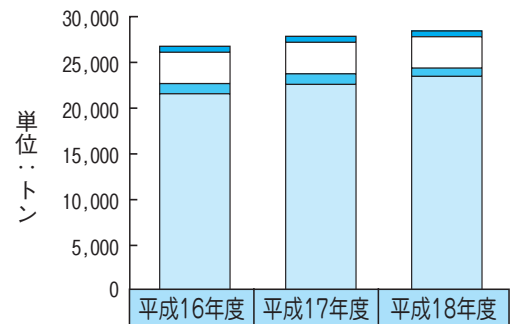
平成18年度の本市の事務組合へのごみ処理にかかる負担金は約8億200万円。これは市民1人当たり11,900円にもなります。

◆ごみになるか資源になるかは、わたしたち次第

平成17年度の本市のリサイクル率は14.7%。全国の19.0%、青森県の11.8%のほぼ中間に位置していますが、全国、青森県とも毎年向上しているのに対し、本市は横ばいのままとなっています。

燃えるごみには、資源化できるごみが多く混入されています。焼却により二酸化炭素を排出し灰となって埋められるか、資源として生まれ変わるかは、市民1人ひとりの取り組みにかかっています。

年度別一般廃棄物の処理量



	平成16年度	平成17年度	平成18年度
燃えるゴミ	21,569	22,565	22,974
燃えないごみ	1,021	1,052	1,016
資源ごみ	3,101	3,076	2,962
粗大ごみ	401	432	377
合計	26,092	27,125	27,329

廃棄物のリサイクル率

	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度
十和田市	14.9%	14.1%	14.8%	14.7%
青森県	9.2%	11.1%	11.3%	11.8%
全国	15.9%	16.8%	17.6%	19.0%

問い合わせ先 ごみの分別・出し方については 生活環境課 (☎235111内線225・226)
ごみの収集については 十和田地域広域事務組合業務課 (☎282654)

●平成18年度とわだエコ・オフィスプラン実施状況

市役所では、地球温暖化防止のための温室効果ガス削減に向け、市民や事業所などのモデルとなるよう率先して行動することを趣旨とした「十和田市役所環境保全率先行動計画（とわだエコ・オフィスプラン）」を実施しています。平成18年度に市の事務・事業により使用されたエネルギーなどから算出した温室効果ガスは、二酸化炭素換算で10,624トン。前年度（総合体育センターを除く）と比べて466トン、4.2%削減されました。

これは暖冬によって灯油・重油の使用が少なかったことも大きな要因となっていますが、電気使用によって全体の57%、灯油・重油をあわせた3項目では90%を占め、引き続き削減に向けて努力していくことにしています。一般家庭でも、電気39%、自動車29%、灯油・ガス24%との割合となっていますので、経費削減のためにも、一緒に省エネに取り組んでいきましょう。

●グリーン購入状況

グリーン購入とは、製品などを購入するときに、価格や機能・品質だけでなく、環境への負荷ができるだけ少ないものを優先的に購入しようとする取り組みです。購入数が少なく、特殊要因に左右されやすい自動車やOA機器を除き昨年度よりも調達率は向上していますが、全職場への一層の浸透を図っていくことにしています。

問い合わせ先 生活環境課 (☎235111内線225)

	エネルギー使用量等	温室効果ガス排出量
電気使用量	16,088,675kwh	6,081,519kg
重油使用量	839,239ℓ	2,274,027kg
灯油使用量	490,537ℓ	1,227,956kg
都市ガス使用量	122,363m ³	240,336kg
LPGガス使用量	10,388kg	31,231kg
ガソリン使用量	82,254ℓ	190,965kg
軽油使用量	72,409ℓ	189,658kg
ガソリン車走行量	781,449km	6,980kg
軽油車走行量	349,272km	1,613kg
笑気ガス(麻酔)使用量	120kg	37,200kg
下水処理量	5,029,834m ³	342,430kg
	合計	10,623,915kg

グリーン購入調達率

紙類	文具類	機器類	OA機器	電気製品	自動車	その他
91.1%	91.4%	97.8%	7.7%	80.8%	0.0%	80.4%